

# 新年のご挨拶 2022



## 芦別市長 荻原 貢

明けましておめでとうございませう

新年明けましておめでとうございませう

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、二月に執行された芦別市長選挙において、図らずも再び無投票当選の榮に浴し、二期目の市政運営の重責を担わせていただくこととなり、市民皆様の信頼と期待にお応えできるよう全力を尽くす決意をもつて、これまで取り組んできたさまざまな施策を礎に、それら施策のさらなる推進とともに、昨年来相次いでいる新型コロナウイルス感染症対策に市民皆様のご協力のもと、国や北海道と連携しながら取り組み、とりわけ感染対策の切り札とされるワクチン接種については、安全かつ円滑な実施に努めてまいりました。

また、感染拡大の長期化に伴い、行動制限などによる社会経済活動への影響から、地域経済の回復を図るため、国の地方創生臨時交付金を活用して、市民・事業者の皆様に対する生活支援、経営支援を

行ったほか、新型コロナウイルスの収束後を見据え、まちづくりの基盤となる光ファイバの市内全域への整備や、企業振興に係る求人・求職マッチングサイトの開設を行うなど、市政各般にわたり着実に施策展開を図ったところであります

が、基幹産業の農業においては、稲作において新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食産業の影響等による米価の下落や、夏季の高温干ばつの異常気象による畑作物や野菜などの収穫量の減少や品質の低下など、農業経済に深刻な影響がもたらされ、次期作への懸念が呈されることとなりました。

一方、地域医療においては、基幹病院である市立芦別病院の経営形態を四月から変更し、新たに事業管理者を置き、公立病院として、救急や回復の生命と健康を守り、安定的な医療の継続が図られるようスタートした一年でもありました。

こうした中、長年の要望活動が実り、一般国道452号の未開通区間のうち芦別側の

盤の沢道路「鏡トンネル」着工の実現や、主力特産品の芦別産米を中心とした「ふるさと納税」の回復基調に加え、厳しい経営環境に置かれていた観光産業では、芦別温泉スライイトホテルとおふるカ

フェ星遊館において、若い世代のかたを中心として賑わいを取り戻してきており、また、芦別温泉エリアにあるオートキャンプ場跡地を活用し、東京の民間事業者によるグランピング施設「ザランタン芦別」が7月に開業して活況を呈し、芦別温泉への波及効果、地元企業との交流、地場食材の活用など好循環をもたらしております。

さらに、休止中であつた国設芦別スキー場が、新たに札幌の民間事業者を指定管理者として運営されることとなり、今後、これら事業者間の連携や、市と事業者との包括連携協定を通じて地域活性化に向けた取組の推進が期待されるところであります。

また、合宿の里事業では、あしべつ宿泊交流センター二号館のオープンにより既存施設と合わせた宿泊定員の増加

を図ったことにより、新型コロナウイルス対策に係る行動制限の緩和とともに、スポーツ合宿や林業実習での利用が増えてきており、今後、さらに幅広い分野での団体利用が促進されるよう、PRに一層努めてまいりたいと考えております。

さて、迎えました新年も新型コロナウイルスによる第6波の感染再拡大が懸念される状況ではありますが、引き続き感染症対策と地域経済の回復を重視しつつ、「縮充と連携」をキーワードに、市民の福祉増進と地域の活性化及び財政の健全化を図り、公民連携や国、北海道との政策連携、他

自治体との連携に意を用いながら、しなやかでゆるぎない市政の進展と、誰もが、住みやすく、働きやすく、学びやすく、子育てしやすく、訪れたいと実感できるまちづくりを鋭意チャレンジしてまいります。

結びに、今年一年が皆様にとりまして、ご健康で希望にあふれる年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 迎春



## 芦別市議会議長 田森 良隆

### 謹んで新春のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとう  
ございます。

市民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和2年1月に国内で感染者が初確認された新型コロナウイルスが、第4波ではアルファ株、第5波ではデルタ株と猛威を振るい、国の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、私たちの行動が制限され、飲食業、観光業を始め多くの産業がコロナの影響を受けました。

ただ、このような状況ではありましたが、元北海道日本ハムファイターズの大谷選手がの二刀流によるメジャーリーグでの活躍、1年延期となっていました東京オリンピックがパラリンピックが開催され、世界から集まった多くの選手活躍は、私たちに夢や希望、感動を与えてくれました。  
10月には、菅首相が辞任し、岸田首相が誕生、新内閣が発足しました。先に行われました臨時国会では、緊急経済対策に係る補正予算が可決さ

れ、今後のコロナ対策や疲弊した地域経済の回復が期待されることとあります。

本市におきましても、昨年飲食業を始め多くの産業がコロナの影響を受け、また、芦別健康まつり、キラキラ☆フェスタあしべつなどの市民が楽しみにしていた多くの事業や会議が中止となり、さまざまな施策の推進について停滞せざるを得なかった1年でありましたが、医療従事者から順次行われたワクチン接種も市民の約9割が2回目の接種を終え、また宿泊交流センター12号館の完成、国道452号鏡トンネル工事の着工、上金剛山展望台の完成、ふるさと納税の大幅な増加、国設芦別スキー場の2年ぶりオープンなど令和4年に期待される明るい話題もありました。  
私ども市議会では、9月定例会において、政治分野における男女共同参画を推進し、多様な人材の市議会への参画促進を図るため市議会会会議規則、市議会委員会条例を改正しました。  
また、議会のネット動画配信、小中学生から意見、アイデ

イアを聞く議会懇談会の開催など、少しずつではありますが、議会改革を進めてきました。

明けた本年、本市においては、持続可能な市政、安全・安心な市民生活と市民の福祉増進、さらに効果的な人口減少対策の推進とコロナ禍で疲弊した地域経済の回復への取り組み等々、山積する重要課題の解決に向けて、私ども市議会の果たす役割はこれまで以上に重要となっております。  
私ども市議会は、時代の変化に沿った改革の意識を持ち議会改革に取り組んで参りましたが、社会全体がデジタル社会へ向かう中、地方自治体においても行政手続きのデジタル化、ワンストップサービスの求められており、市議会においてもデジタル化など議会改革の推進に全力で取組んで参る所存でありますので市民の皆様への市議会への変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。  
結びに、今年一年が、皆様にとりまして、ご健勝ですばらしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

### 教育委員会

教育長 福島 修史

### 市立芦別病院

事業管理者

羽根田 俊

### 監査委員

岩花 永喜

石川 洋一

### 農業委員会

会長 北野 俊之

### 公平委員会

委員長 荒木 英理

### 固定資産評価審査委員会

委員長 大西 俊夫

### 芦別市消防団

団長 高砂 裕司

### 芦別市議会

副議長 小川 政憲

議員 林 伸樹

樋坂 直紀

新村 充

松尾 達矢

大橋 二朗

石川 洋一

北村 真

大鎌 光純

松井 邦男

若松 市政

